

小平市議会定例会 代表質問通告書

質問件名 心豊かに暮らすためのまちづくりについて

【質問要旨】

2024年1月に示された令和2年(2020年)国勢調査に基づく小平市の将来人口推計では、小平市の人口のピークは2030年頃で、202,767人になると予想されています。小平市公共施設マネジメント推進計画策定時の2017年には総人口のピークは2020年、計画改定時の2022年にはピークは2025年と示され、人口推計によるピークは現在のところ10年後ろ倒しになっています。

しかしながら人口は増加しつつも少子高齢化、働き盛り世代の減少は小平市でも進んでいます。

世界情勢によるエネルギーや食料の高騰に賃金が追いついていないなど市民生活は厳しい状況が続いています。人口は増えているが少子高齢化はすすみ近い将来人口減に転じるという時期だからこそ、これまで以上に小平市の地理的な特性(平坦な地形であることや都心からほど近い位置にあること、農地も多くみどりが豊かであるなど)をいかすことやこれまでに培ってきた市民活動や市民同士の繋がりがより必要になってくると考えます。

市民が地域で、安心して安全に、心豊かに暮らせるまちを描いていくために以下質問します。

- ① 小平市公共施設マネジメント推進計画では公共施設の更新などを機会に、2062年度までに床面積を20%以上縮減する計画になっていますが、2030年までは人口が増加するという推計が示されたことから、計画の変更が必要です。どのように対応しますか。
- ② 公共施設マネジメント課と新しい建物を利用する所管課など、庁内の連携が十分にとれていないように感じます。どのような会議を開催しているのか、庁内の連携についてお示してください。
- ③ 2022年3月「男女共同参画宣言都市こだいら」を宣言し、第四次小平市男女共同参画推進計画が策定されました。計画の基本理念として「だれもが、性別による無意識の思い込みにとらわれることなく、共につながりを持ちながら認め合い、自分らしくいきいきとその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現」が示されています。一人ひとりが無意識の思い込みに気づくことについては市報などを通じて周知を図るなどしていますが、その成果と課題、今後の取組みをお示してください。また、市立小・中学校ではどのような取組みを行っていますか。成果と課題についてお示してください。
- ④ 全員協議会の2024年度(令和6年度)予算編成に当たっての施政方針では、共につくるまちの実現に向け、市民参加・市民協働の取組を推進し、魅力と活気に満ちたまちづくりに一層努めるとの発言がありました。まちづくりへ市民が参加することや市民と協働することの重要性をどう捉えていますか。
- ⑤ 市民がまちづくりに参加するためには、情報提供とともに自治の力を発揮する場や仕組みが必要です。市としての見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2024年2月14日 小平市議会議長 殿

会派名 生活者ネットワーク

代表質問議員 氏名 さとう悦子

受付番号【 】— ()

整理番号(通しNo.) …… ()